

大阪府営瓜破東住宅第1期増築その他工事

阪改-91-4RC-60305

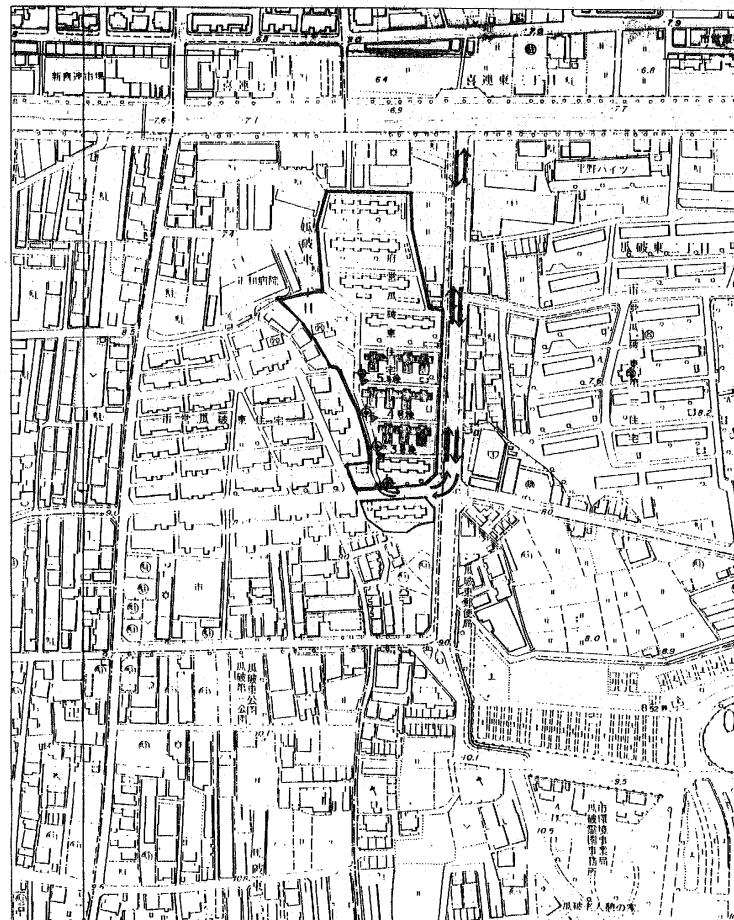


図 面 目 録		
番 号	図 面 名 称	縮 尺
0	表紙・図目録	
1	特記仕様書	
2	指定材料表	
3	仕上表	
4	平面図・立面図・断面図	1:100
5	改修平面詳細図	1:20
6	改修断面詳細図(1)	1:20
7	改修断面詳細図(2)	1:20
8	改修展開図	1:50
9	改修天井伏図・床伏図	1:50
10	改修建具表	1:50
11	特殊詳細図(1)	1:100, 1:20
12	特殊詳細図(2)	1:2, 1:3, 1:5, 1:10
13	特殊詳細図(3)	1:2, 1:5, 1:20
14	特殊詳細図(4)	1:3, 1:5
15	特殊詳細図(5)	1:2
16	特殊詳細図(6)	1:5, 1:10, 1:20
17	特殊詳細図(7)	1:1, 1:10, 1:20
18	撤去平面詳細図	1:20
19	撤去断面詳細図	1:20
20	撤去展開図	1:50
21	撤去天井伏図・床伏図・建具表	1:50, 1:100

指定材料表

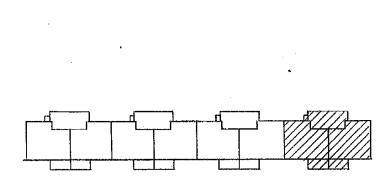
1. コンクリート既設型杭 ・RC杭 JIS A 5310 (遠心力鉄筋コンクリート杭) の規格品 ・PC杭 JIS A 5335 (プレテンション方式遠心力プレストレストコンクリート杭) の規格品 ・PHC杭 (高強度丸型PC杭) JIS A 5337 (プレテンション方式遠心力高強度プレストレストコンクリート杭) の規格品 2. 鋼管杭等 ・鋼管杭 JIS A 5525 (鋼管杭) の規格品 ・H型鋼杭 JIS A 5526 (H型鋼杭) の規格品 3. 鋼管杭 (常用コンクリートの場合) ・異形鉄筋 JIS G 3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼) の規格品又は、JIS G 3117 (鉄筋コンクリート用再生棒鋼) の規格品 ・丸鋼 (A種) JIS G 3112のSR24の規格品又は、JIS G 3117のSR24 の規格品 ・丸鋼 (B種) 共通仕様書5.1.3.b に定める試験の結果が下記のいずれかの規格に合格するもの JIS G 3112のSR24 JIS G 3117のSR24 ・溶接金網 JIS G 3551 (溶接金網) の規格品 4. ガス圧接 ・圧接工 圧接工は、工事に相応したJIS Z 3881 (ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準) による技量を有し、技量証明書を監督員に提出して承認を受けた者とする 5. レデーミクストコンクリート ・1類の場合 JIS A 5308 (レデーミクストコンクリート) の JIS表示許可工事で製造されたコンクリート 6. セメント JIS R 5210 (ポルトランドセメント) に規定する、普通、早強、超早強、中熱ポルトランドセメント又は、下記、混合セメントに規定する A種とし、JASS 5T 101 (セメントの異常凝結性の判定規準) に合格するもの JIS R 5211 (高熱セメント) JIS R 5212 (シリカセメント) JIS R 5213 (フライアッシュセメント) 7. 砕石 JIS A 5005 (コンクリート用砕石) に規定するもので、かつ共通仕様書6.2.1 表及び6.2.2 に示す品質のもの 8. 人工軽量骨材 ・構造用 アサノライト → 日本セメント 宇部軽骨 → 宇部興産 セイライト → セイライト工業 (東京) ヒルトン → 住友金属鉱山 (東京) メサライト → 三井金属鉱山 ライオナイト → 大阪セメント 9. 混練り骨材 ・AE材 山崎化学、シェルコン、W・Rグレース ・AE減水剤 花王石鹼、神戸材料、山崎化学、サンフロー、シェルコン、竹本油脂、W・Rグレース、日本シーカ、藤沢薬品工業、ボリス物産 10. 鋼材 ・A種 共通仕様書7.2.1 表により、JIS の名称、材料、規格品の指定などは、特記による ・B種 共通仕様書7.2.7(b) に定める試験結果がそれぞれの JIS規格に合格するもの 11. 高力ボルト ・JISの高力ボルト JIS G 1186 (鋼板接合用高力六角ボルト、六角ナット、平座金のセット) の規格品 ・特殊高力ボルト 建築基準法に基づき認定されたもの 12. 普通ボルト ・六角ボルト JIS B 1180 (六角ボルト) による中3級の規格品 ・六角ナット JIS B 1181 (六角ナット) による中3級の規格品 ・メートル非目ネジ JIS B 0205 (メートル非目ネジ) により、ネジの等級はJIS B 0209 (メートル非目ネジの許容限界寸法及び公差) の3級とする ・座金 JIS B 1256 (平座金) のみか丸の規格品	13. 軽量形鋼 JIS G 3350 (一般構造用軽量形鋼) の SSC41の規格品 14. コンクリートブロック JIS A 5406 (空胴コンクリートブロック) による規格品 15. ALCパネル JIS A 5416 (オートクレープ養生した軽量気泡コンクリート製品) のパネルの規格品 16. アスファルト防水 (材料) ・アスファルト JIS K 2207 (石油アスファルト) による防水工事用アスファルト ・アスファルトルーフィング JIS A 6006 (アスファルトルーフィング) による製品 ・砂付ルーフィング JIS A 6007 (砂付ルーフィング) による製品 ・網状アスファルトルーフィング JIS A 6012 (網状アスファルトルーフィング) による合成繊維ルーフィング ・ストレッチルーフィング JIS A 6022 (ストレッチルーフィング) による製品 ・穴あきルーフィング JIS A 6023 (穴あきルーフィング) による製品 17. アスファルト防水 (施工業者) 近畿防水事業協同組合、ゴムアスファルト防水工事事業協同組合、東亜アスファルト防水事業協同組合、東西アスファルト防水事業協同組合、日本アスファルト防水工業協同組合、全日アスファルト防水事業協同組合、東興アスファルト工業株式会社 18. 合成高分子ルーフィング防水 (シート防水) JIS A 6008 (合成高分子ルーフィング) の規格品 加流ゴム系 19. 合成高分子塗膜防水 (塗膜防水) JIS A 6021 (屋根防水用塗膜材) の規格品 アクリル樹脂系 20. モルタル防水 西日本建設防水協同組合加盟業者の責任施工 21. シーリング コーキング ・油性コーキング JIS A 5751 (建築用油性コーキング材) の規格品 ・シリコンシーリング JIS A 5758 (建築用シリコンシーリング材) のシリコン系シーリング材 (SR) の表示品 但し、JIS A 5757 (建築用シリコンシーリング材の用途別性能) について公的試験所の試験成績書の添付されたもの 耐久性 9030 ・ポリサルファイドシーリング JIS A 5758 (建築用シリコンシーリング材) のポリサルファイド系シーリング材 (PS) の表示品 但し、書以降は上記と同じ 耐久性 8020 ・ポリウレタンシーリング JIS A 5758 (建築用シリコンシーリング材) のポリウレタン系シーリング材 (PU) の表示品 但し、書以降は上記と同じ 耐久性 7020 ・アクリルシーリング JIS A 5758 (建築用シリコンシーリング材) のアクリル系シーリング材 (AC) の表示品 但し、書以降は上記と同じ 耐久性 7010 ・ブチルゴムシーリング JIS A 5758 (建築用シリコンシーリング材) のブチルゴム系シーリング材 (BU) の表示品 但し、書以降は上記と同じ 耐久性 7005 22. 防水モルタル ・防水剤 ウォータイト、ゲルカ、シーカ、シンケン、マノール、ユニロン、ロタス 23. アルミニウム製器具 (製作所) 公共住宅用B.L.部品メーカーとする 24. 鋼製器具 (製作所) ・スチールドア 公共住宅用B.L.部品メーカーとする ・スチールフラッシュドア 公共住宅用B.L.部品メーカーとする ・シンダラー錠 ギール → 鋼 ショウワ → 鋼 エーゼント → 鋼 ミワ → 鋼	25. 木製器具 (製作所) ・木製フラッシュドア 公共住宅用B.L.部品メーカーとする 26. 外装用アクリル樹脂系エマルジョン (アクリルリシン) JIS A 6909 (曹付け仕上塗材) による外装用樹脂エマルジョン系曹付け仕上塗材 27. 塗料 ・木部、鉄部油性調合ペイント JIS K 5511 (油性調合ペイント) の規格品 ・木部、鉄部合成樹脂調合ペイント JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) の規格品 1種、2種 ・鉛丹さび止めペイント JIS K 5622 (鉛丹さび止めペイント) の規格品 1種、2種 ・鉛丹ジクロロメートさび止めペイント JIS K 5628 (鉛丹ジクロロメートさび止めペイント) の規格品 ・ジクロロメートさび止めペイント JIS K 5627 (ジクロロメートさび止めペイント) の規格品 A種、B種 ・一般用さび止めペイント JIS K 5621 (一般用さび止めペイント) の規格品 1種 ・エッチングプライマー JIS K 5663 (エッチングプライマー) の規格品 1種 ・合成樹脂エマルジョンペイント JIS K 5663 (合成樹脂エマルジョンペイント) の規格品 1種 (外部)、2種 (内部) ・クリヤラッカー JIS K 5531 (クリヤラッカー) の規格品 ・フタル樹脂エナメル JIS K 5572 (フタル樹脂エナメル) の規格品 1種 (一般用)、2種 (屋外用) ・塩化ビニル樹脂エナメル JIS K 5582 (塩化ビニル樹脂エナメル) の規格品 1種 28. 接着剤 ・床コンクリート+木パッキン JIS A 5537 (木れんか接着剤) による製品 (酢酸ビニル樹脂系溶剤系) (エポキシ樹脂系) ・床コンクリート+アラモレン(付の) 酢酸ビニル樹脂系溶剤系とし、かつメーカー仕様とする ・壁コンクリート+フォームポリスチレン保温板 JIS A 5538 (壁用ボード類接着剤) による製品 (酢酸ビニル樹脂系溶剤系) ・壁木パッキン+フォームポリスチレン保温板 JIS A 5538 (壁用ボード類接着剤) による製品 (酢酸ビニル樹脂系溶剤系) ・木+塩化ビニル(壁) ニトリル系ゴム接着剤 ・天井コンクリート+フォームポリスチレン保温板 JIS A 5539 (天井用ボード類接着剤) による製品 (酢酸ビニル樹脂系溶剤系) 29. ステンレス流し台 (製作所) 公共住宅用B.L.部品メーカーとする 30. 集合住宅郵便受 (製作所) 公共住宅用B.L.部品メーカーとする 31. フォームポリスチレン保温板 JIS A 9511 (ポリスチレンフォーム保温材) の B類とする 32. 表札 (製作所) 大建プラスチック、協和製作所 33. ダストコンテナ (製作所) クレーン方式 → 輸送機工業 ロータリロード方式 → 富士車輛 ロードバック方式 → 富士車機 34. P・R・P製防水パン (浴室) (製作所) 公共住宅用B.L.部品メーカーとする	35. 石綿ケイ酸カルシウム板 JIS A 5418 (石綿セメントけい酸カルシウム板) による製品 36. 石綿セメント板 JIS A 5403 (石綿スレート) の規格品 35. 無石綿外装材 ニューNラックス → ニチアス NCボードF → 日光化成 セルフレックス → 鋼アスク 浅野フレキシブルボードN → 浅野スレート ダイケンラックスセキュラート → 大建工業 上記同等品以上 36. 無石綿内装材 JISラックス → ニチアス NCボードA → 日光化成 セルストーン → 鋼アスク 浅野ハイラックス → 浅野スレート ダイケンラックスセキュラート → 大建工業 上記同等品以上
---	--	--	--

公営住宅	年度	大阪府	標準仕様
国名指定材料表		縮尺	
大阪府建設部 建築課		年月日	
課長	主任	主査	担当
共同建築事務所	2		21

2戸1改修住戸内部仕上表

現況室名	改修後の室名	工種区分	床高さ	床		巾木		CH	廻り縁	天井		備考	
				下地	仕上	下地	仕上			下地	仕上		
和室6帖(A)(B)	和室6帖(1)(2)	現況	+150	木床組	タタミ	タタミ寄せ	コンクリート 木軸組			コンクリート (木軸組)	アラスター塗 (石膏ボード)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 床下をよく見直し、破損部は補修すること。 ○ 改修後床鳴りが生じないように施工すること。 ○ 清掃 ○ 既存木軸組を撤去 ○ 新設木軸組をS 	
		撤去改修			一部撤去	一部撤去	一部撤去	一部撤去	一部撤去	一部撤去	(石膏ボード)撤去		
和室4.5帖(A)	和室4.5帖	現況	+150	木床組	タタミ	タタミ寄せ	コンクリート 木軸組			コンクリート (木軸組)	アラスター塗 (石膏ボード)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 床下をよく見直し、破損部は補修すること。 ○ 改修後床鳴りが生じないように施工すること。 ○ 清掃 ○ 押入の外壁(保)内部にグラスウール50充填 ○ 既存木軸組を撤去 	
		撤去改修			一部撤去								
便所(A)	台所	現況	+70	コンクリート	モルタルコテ押エ	モルタルコテ押エ	コンクリート 縁瓦積	腰モルタルコテ押エ 壁アラスター塗	2059		木軸組	石膏ボード	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既設流し台・棚撤去 ○ 便所・物入全て撤去 ○ 台所外壁(保)・玄関ドア(保)・便所器具(保)撤去 ○ 流し台(W=800 BL製品) 詳-601 ○ 吊戸棚 W=1200 BL製品 ○ 流し台水切 詳-602 ○ 湯沸器取付取付 ○ 木部OP塗
		撤去改修			一部撤去	一部撤去	一部撤去	一部撤去			撤去	撤去	
玄関	台所	現況	+108	コンクリート 木床組	モルタルコテ押エ 磁器貼	モルタルコテ押エ 磁器	コンクリート・縁瓦積 木軸組	アラスター塗 ベニヤ板張	2347		コンクリート (木軸組)	アラスター塗 (石膏ボード)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 床下をよく見直し、破損部は補修すること。 ○ 改修後床鳴りが生じないように施工すること。 ○ 清掃 ○ 押入の外壁(保)内部にグラスウール50充填 ○ 既存木軸組を撤去
		撤去改修										(石膏ボード)撤去	
玄関(B)	台所	現況	+120	コンクリート 木床組+合板12 既設磁器貼張の上 合板12 貼	塩ビシート2.3	木製 H=35 OP塗	一部木軸組新設	既設EP塗 石膏ボード9 EP塗 腰モルタルコテ押エ 壁アラスター塗 磁器貼	2335 2300		一部木軸組新設	既設EP塗 石膏ボード9 EP塗	<ul style="list-style-type: none"> ○ 床下をよく見直し、破損部は補修すること。 ○ 改修後床鳴りが生じないように施工すること。 ○ 清掃 ○ 押入の外壁(保)内部にグラスウール50充填 ○ 既存木軸組を撤去
		撤去改修											
便所(B)	居間	現況	+70	コンクリート	モルタルコテ押エ	モルタルコテ押エ	コンクリート 縁瓦積	腰モルタルコテ押エ 壁アラスター塗	2059		木軸組	石膏ボード	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既設流し台・棚撤去 ○ 物入・便所一部撤去 ○ 台所外壁(保)・玄関ドア(保)・便所器具(保)撤去 ○ 木部OP塗
		撤去改修									撤去	撤去	
台所(B)	物入	現況	+108	木床組	磁器貼	磁器	コンクリート 木軸組	アラスター塗 ベニヤ板張	2347		コンクリート (木軸組)	アラスター塗 (石膏ボード)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 床下をよく見直し、破損部は補修すること。 ○ 改修後床鳴りが生じないように施工すること。 ○ 清掃 ○ 押入の外壁(保)内部にグラスウール50充填 ○ 既存木軸組を撤去
		撤去改修										(石膏ボード)撤去	
バルコニー	廊下	現況		コンクリート	モルタルコテ押エ	モルタルコテ押エ	コンクリート	モルタル刷毛引			コンクリート	モルタル 刷毛引	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物干金物撤去 ○ バルコニー手摺撤去 ○ 湯沸器が撤去 ○ 換気口カバー・アース撤去 ○ 天井吊钩口450 ○ アルミ手摺設置 詳-202
		撤去改修											
押入(B)	洗面所	現況	+150	木床組	板貼	雑巾摺	コンクリート 木軸組	ベニヤ板貼			コンクリート (木軸組)	アラスター塗 (石膏ボード)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建具撤去(アルミ手摺等) ○ 洗濯パン(設備工事) ○ 洗面台() ○ 壁取付鏡 ○ 天板取付鏡張板
		撤去改修									(木軸組撤去)	(石膏ボード撤去)	
和室4.5帖(B)	便所	現況	+150	木床組	タタミ	タタミ寄せ	コンクリート 木軸組	アラスター塗	2305		コンクリート (木軸組)	アラスター塗 (石膏ボード)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 天井吊钩口450
		撤去改修										(石膏ボード)撤去	
和室4.5帖(B)	押入(2)	改修	+150	木床組+合板12 新設	塩ビシート2.3	木製 H=35 OP塗	木軸組新設	耐水ベニヤ5.5 VP塗	2300	E材新設	木軸組新設	石膏ボード9 VP塗	<ul style="list-style-type: none"> ○ 天井吊钩口450
		改修	+120	木床組+合板12 新設	塩ビシート2.3	木製 H=35 OP塗	木軸組新設	耐水ベニヤ5.5 VP塗	2100		木軸組新設	石膏ボード9 VP塗	
浴室	浴	改修	+150	木床組新設	ラワンベニヤ9	雑巾摺	木軸組新設	シナベニヤ4		木製	木軸組新設	ラワンベニヤ4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中組ラワンベニヤ5.5 ○ 巻取付鏡 ○ BFの穴あけ ○ 長縁クロムメッキパイプ寸径φ25 L型設置
		改修		ユニットバス仕上ニヨル	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左	

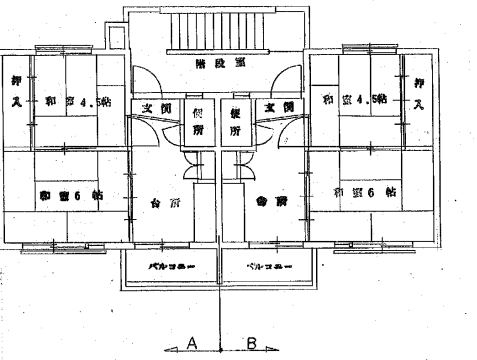
KEY PLAN



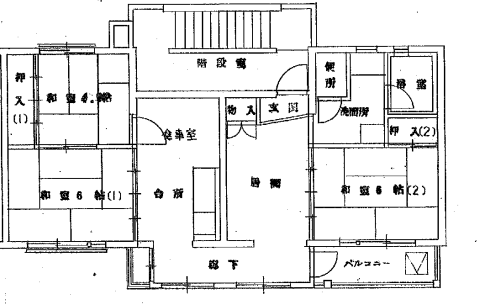
4号棟

特記事項

1. 一部補修及取替については、監修員の指示による。
2. 天井()内は4Fを示す。
3. アフセス(保) 階段室手摺等上げ改修
4. 各所の釘・金物類・カチン等は全て撤去し、釘は保・埋木等の取替を要する。
5. 各室の敷居を点検し、調整すること。
6. 知聖 既存木軸組撤去



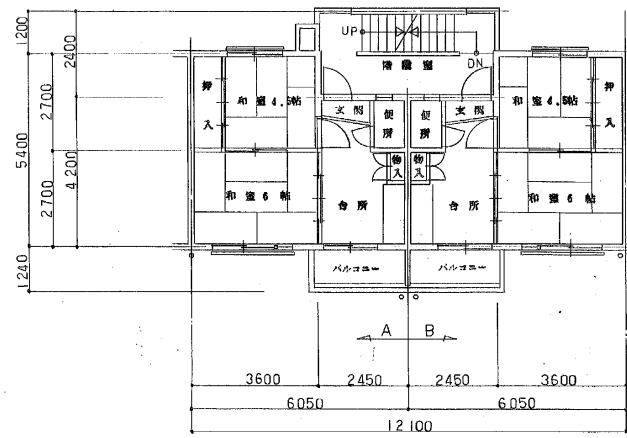
現況平面図 1:100



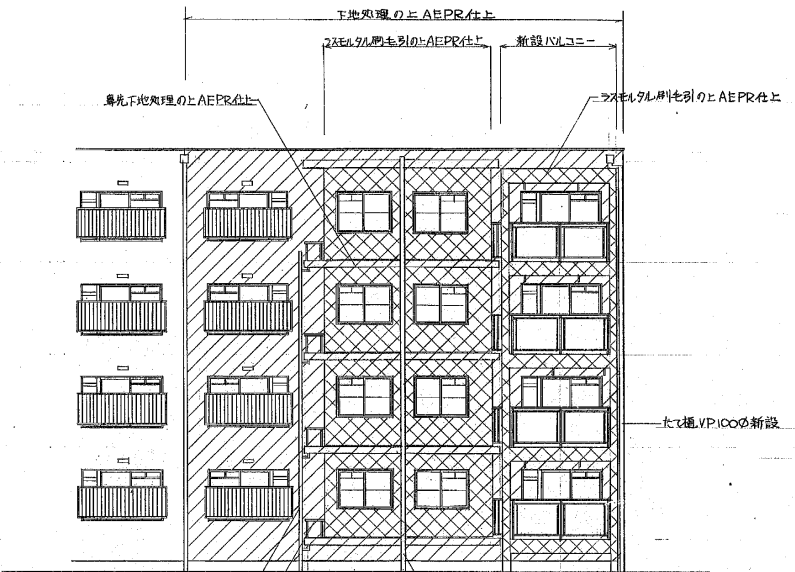
改修平面図 1:100

外部仕上表

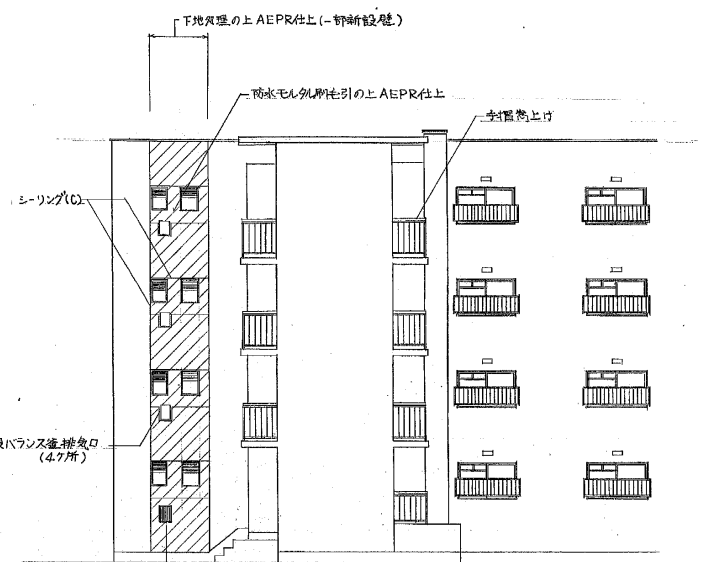
屋上	増築部: シート防水1.0 シルバート上 (住戸改修(増築)標準詳細図集 II-100-102)
新設バルコニー部	モルタル防水コテ押エ 増築部・新設バルコニー部ともルフトライン新設
外壁	洗面所外壁: 新設壁 防水モルタル刷毛引の上AEPR・既設壁下地処理の上AEPR(範囲図示)
	バルコニー側: 新設壁 ラスモルタル刷毛引の上AEPR・既設壁下地処理の上AEPR(全面)
	既設バルコニー側: 下地処理の上AEPR
新設バルコニー	床: モルタル防水コテ押エ (1Fはモルタルを「ラ」) 柱・梁: ラスモルタル刷毛引の上AEPR
	アルミ手摺・物干金物・巻取付鏡口 バルコニー・ドレイン 新設
階段室	既設開口部 穴埋め モルタル補修の上AEPR 手摺高上げの上OP塗
	消火器設置



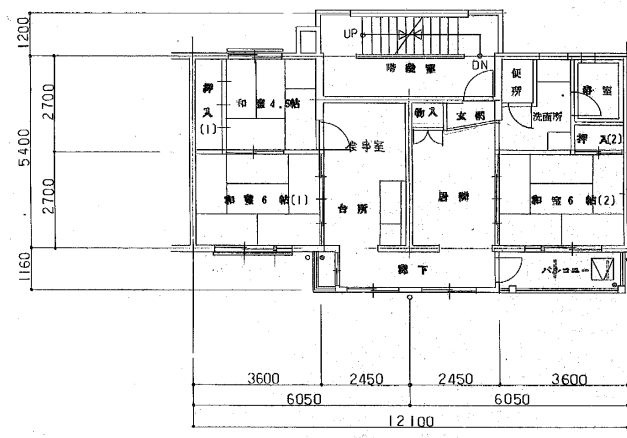
現況平面図 1:100



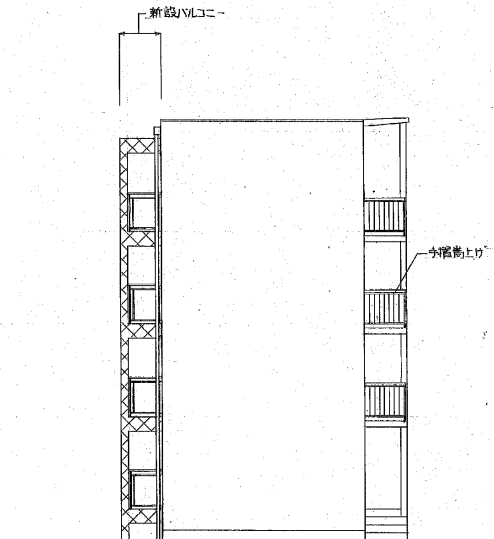
南立面図 1:100



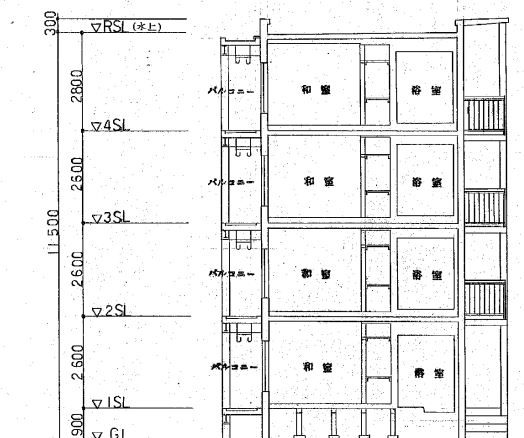
北立面図 1:100



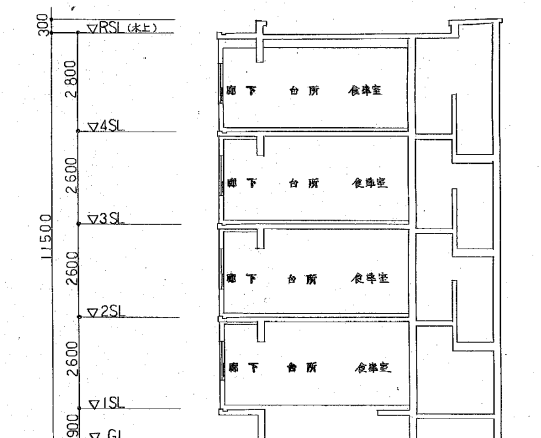
改修平面図 1:100



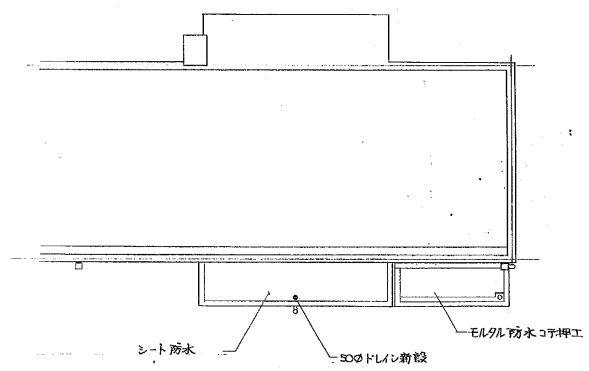
東立面図 1:100



断面図 1:100

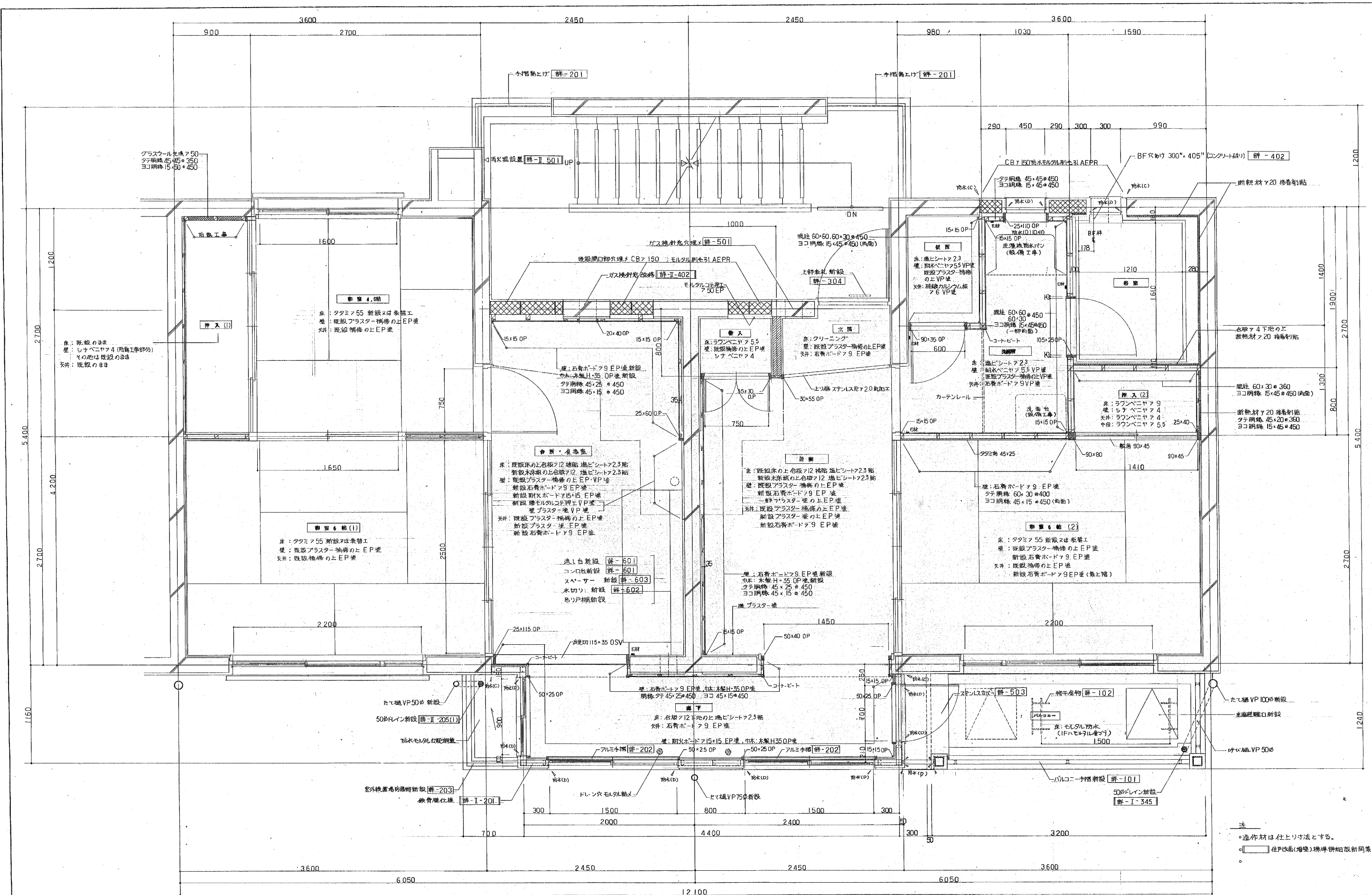


断面図 1:100



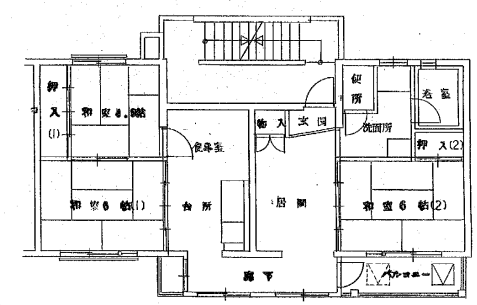
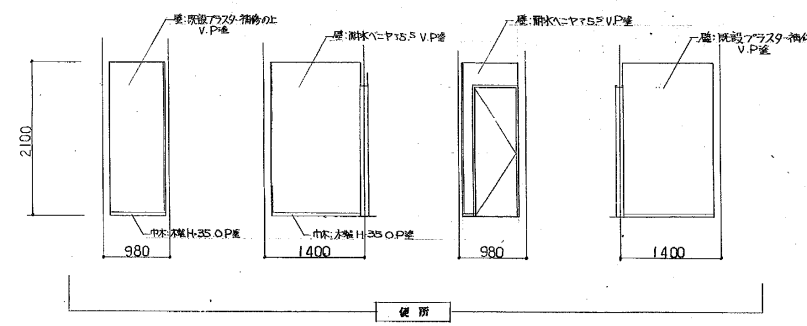
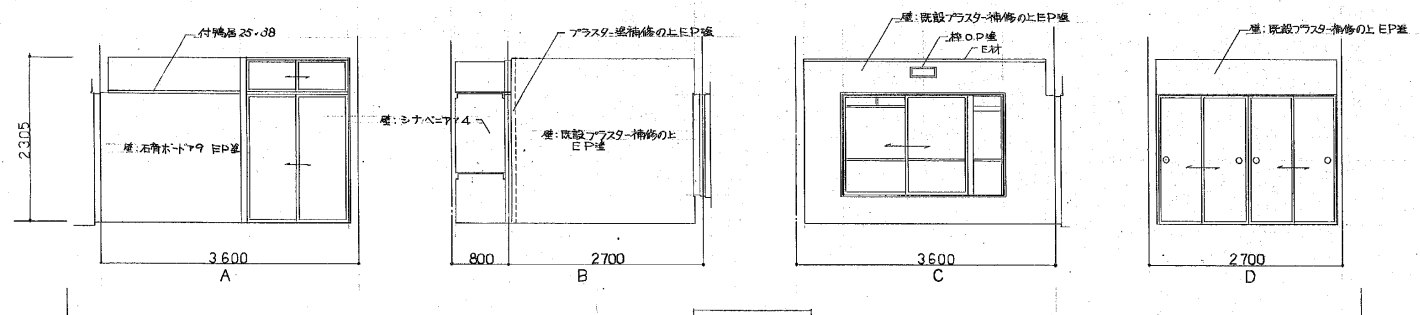
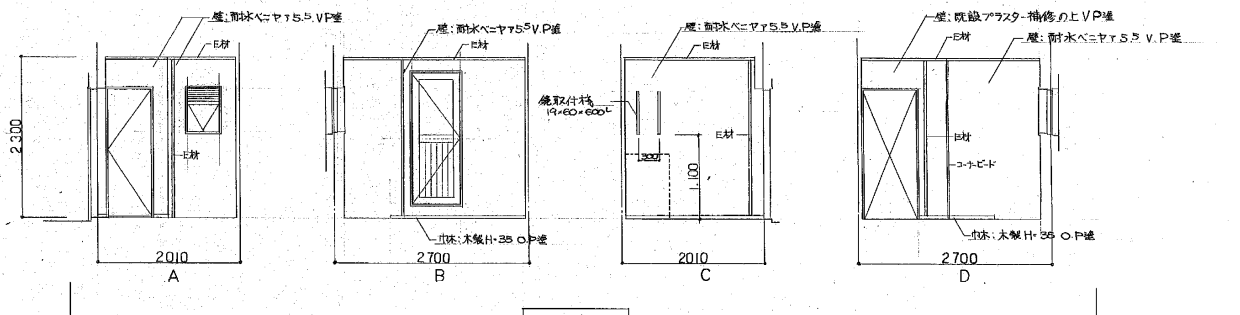
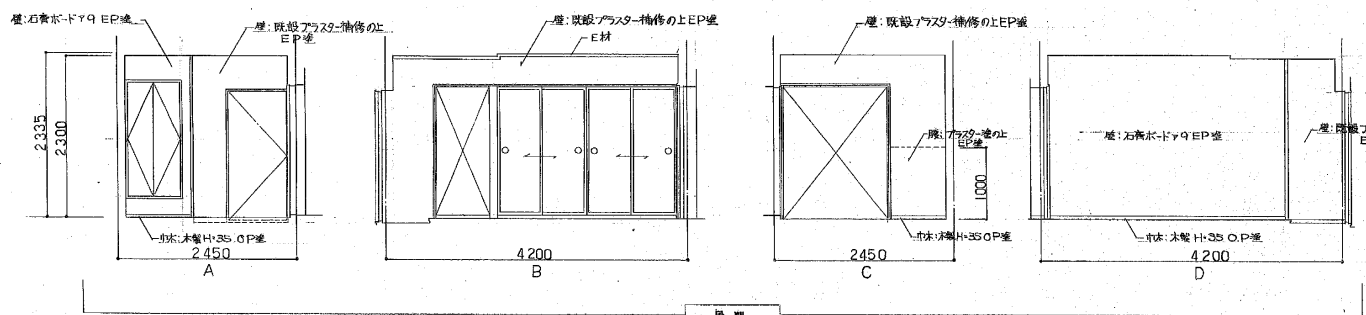
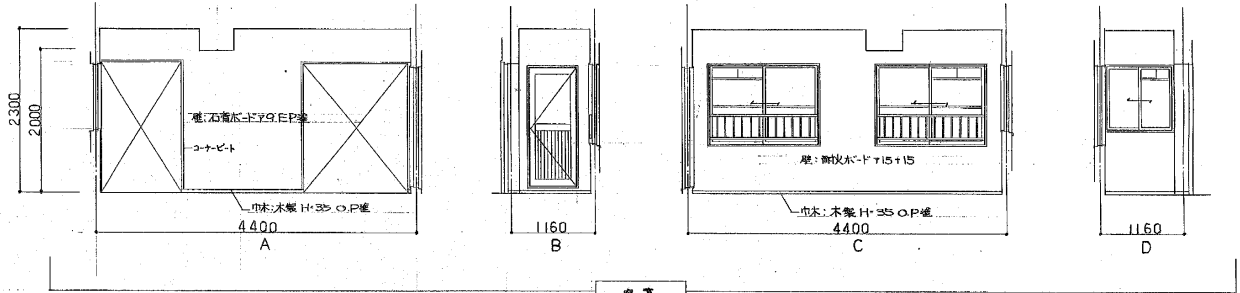
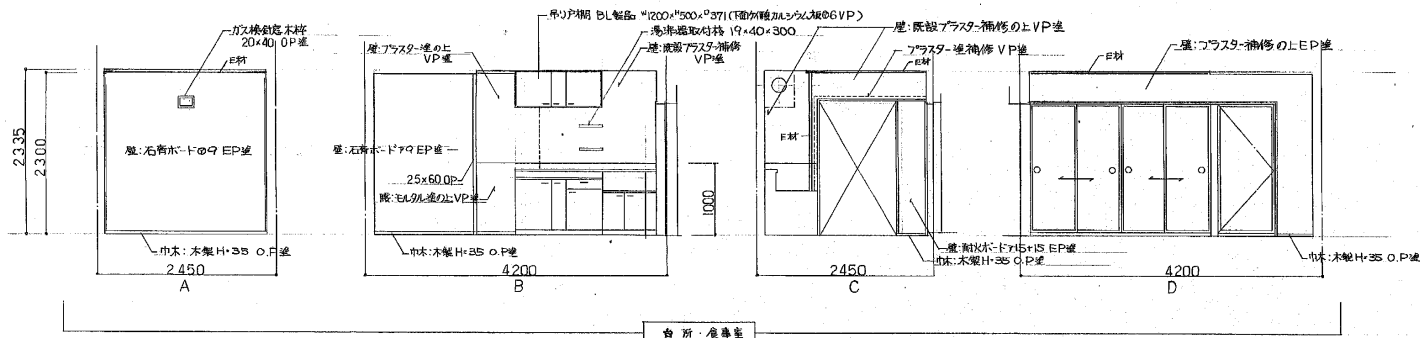
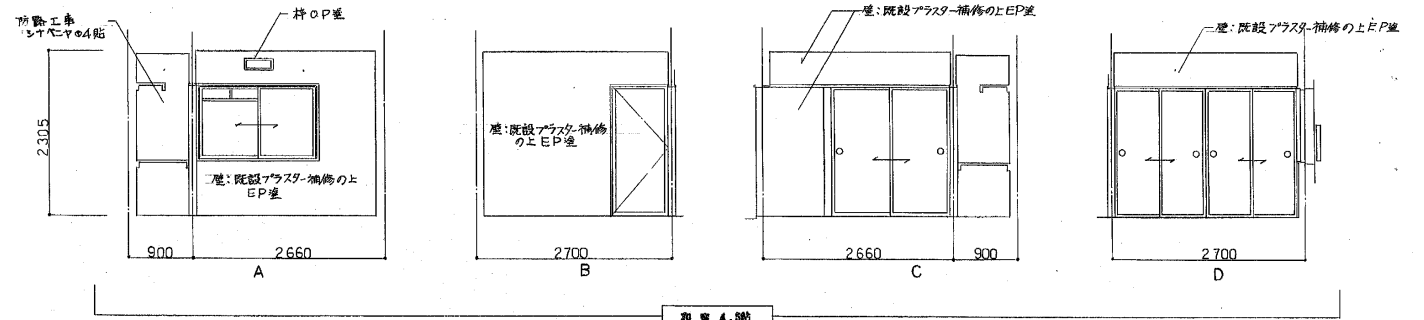
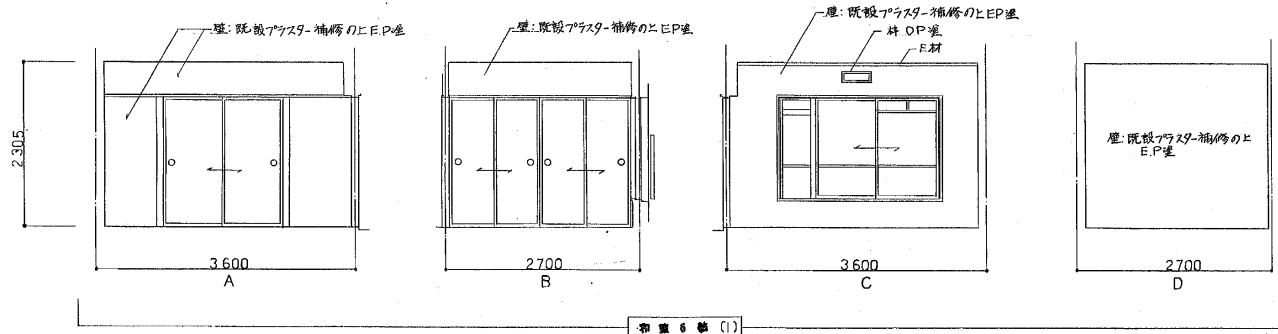
改修屋根伏図 1:100

昭和年月日	発注者	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	図面番号
	大阪府建築部 営繕室					阪一改-91-4RC-60305	平面図・立面図・断面図 縮尺 1:100	4 21
	株式会社 共同建築事務所							

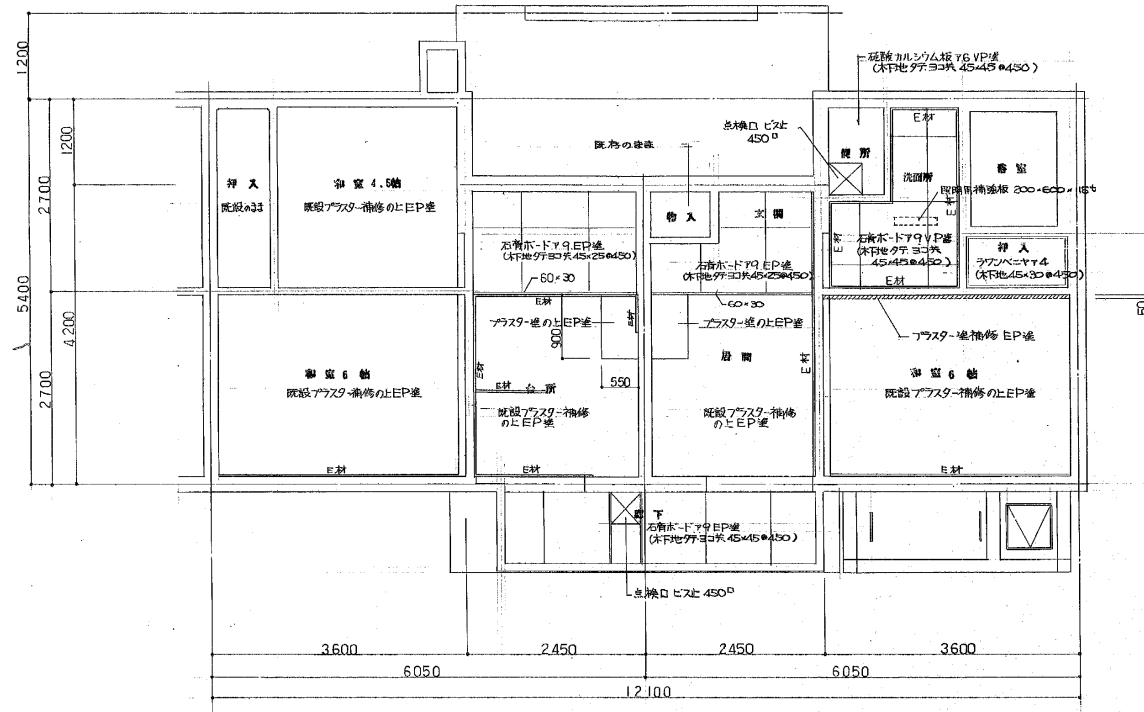


注
 * 造作材は仕上り寸法とする。
 □ 住戸改修(増築)標準詳細設計図書

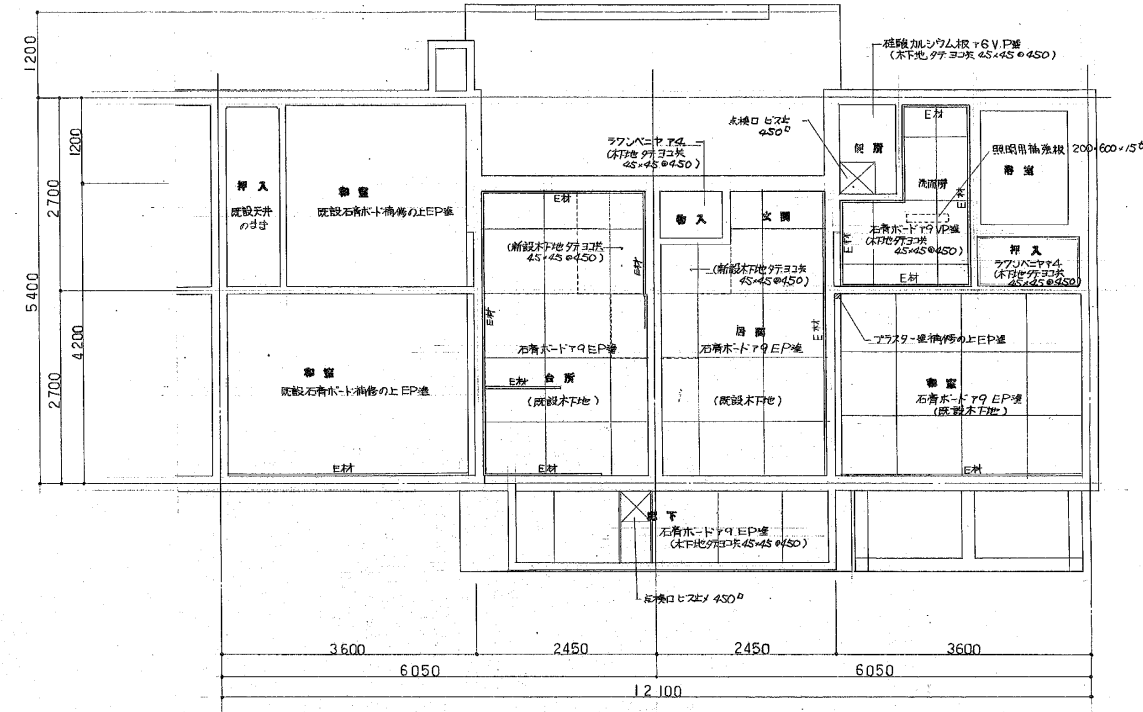
平成 年月日	営繕主 主幹 係長 主査 担当	建築物型式名	図面名称	図面番号
大阪府建築部 営繕室		阪-改-91-4RC-60305	改修平面詳細図	5 / 21
株式会社 共同建築事務所			縮尺 1:20	



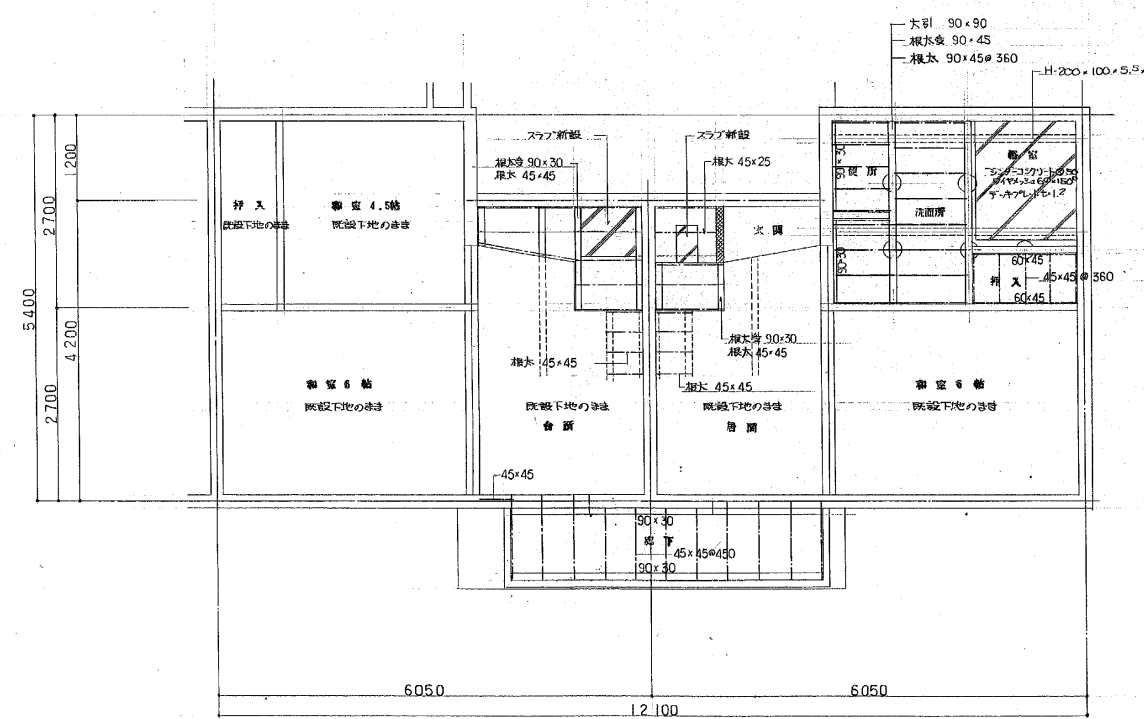
昭和年月日	昭和41年11月	図面番号	8/21
大阪府建築部	営繕室	建物型式名	阪改-91-4RC-60305
株式会社	共同建築事務所	図面名称	改修展開図
		縮尺	1:50



1~3階天井伏図 1:50

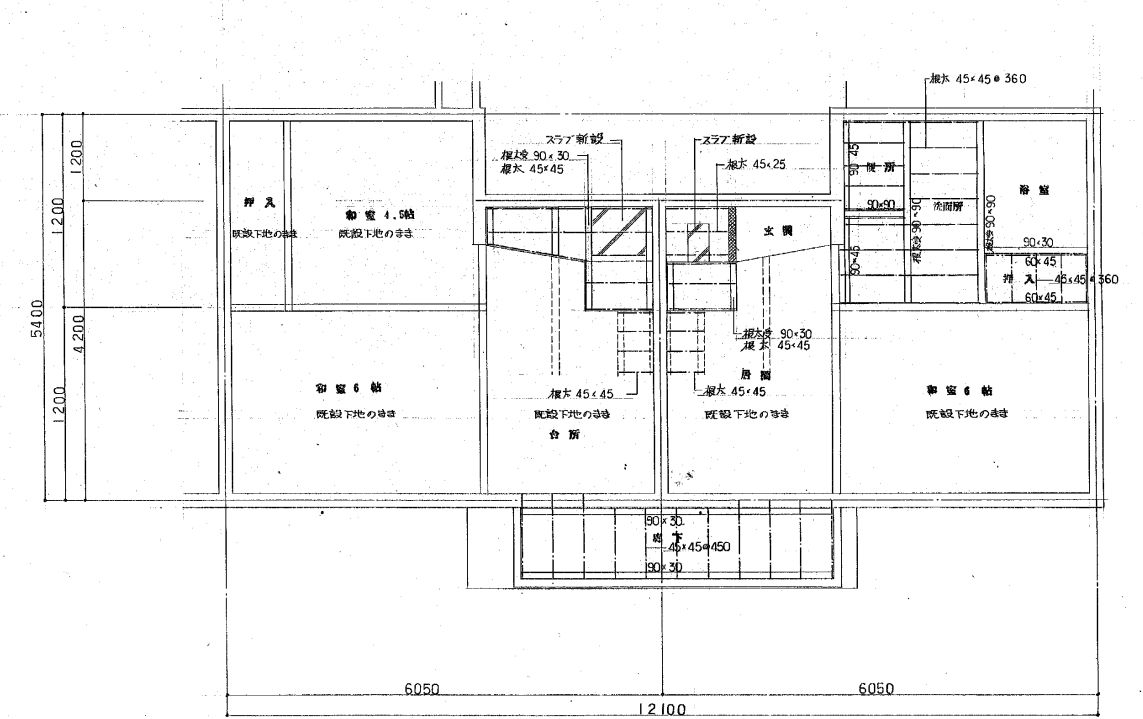


4階天井伏図 1:50



1階床伏図 1:50

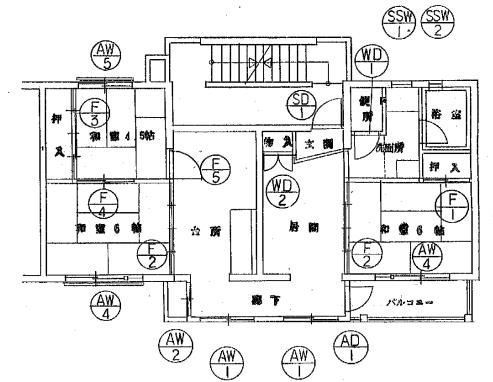
○ 柱
○ 梁
○ スラブ



2~4階床伏図 1:50

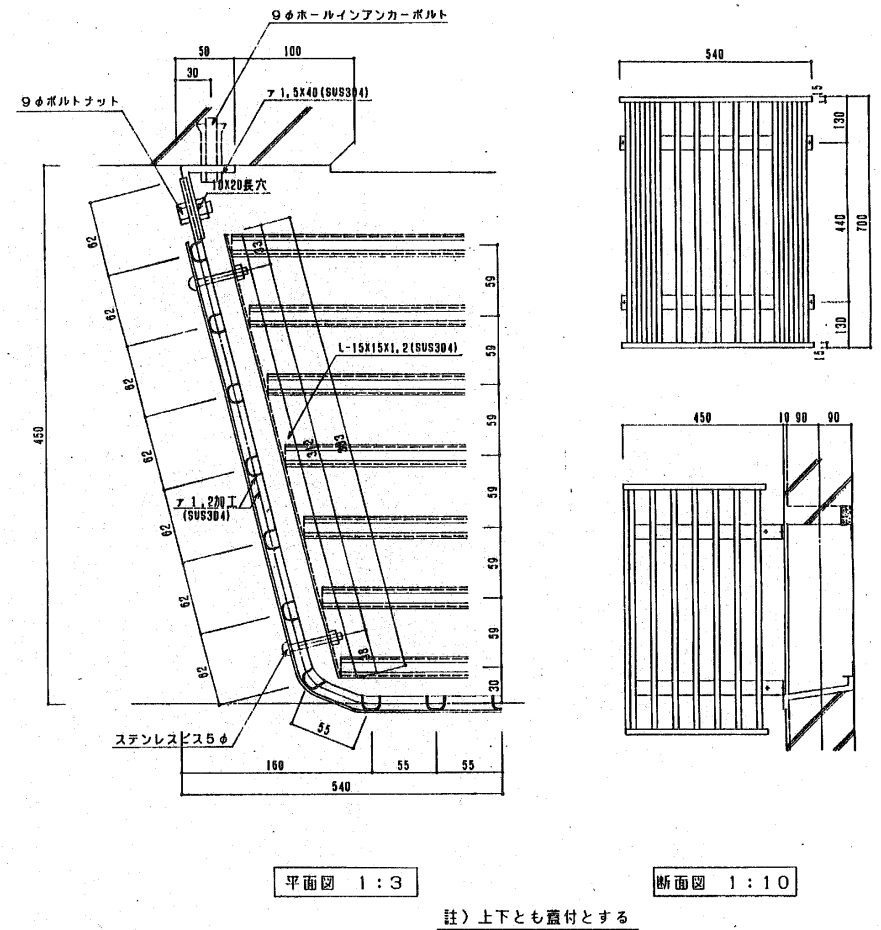
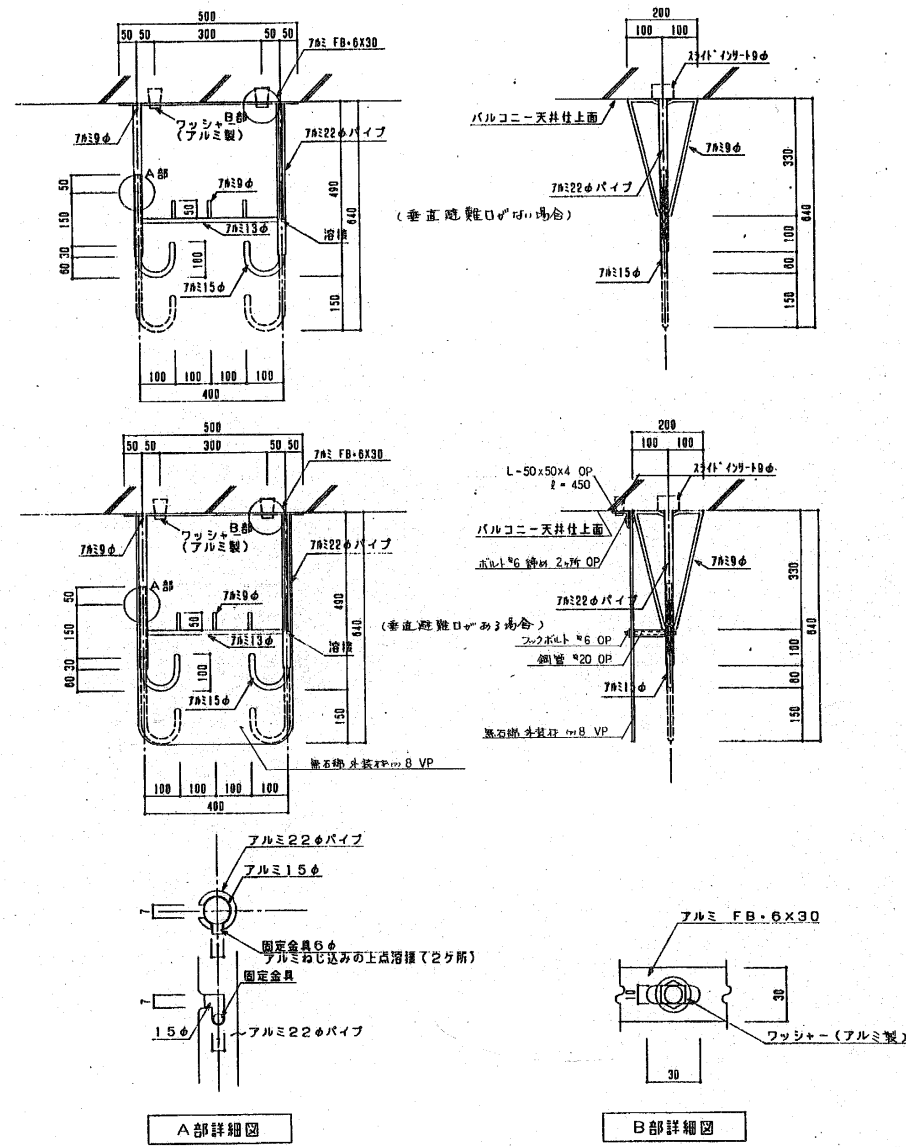
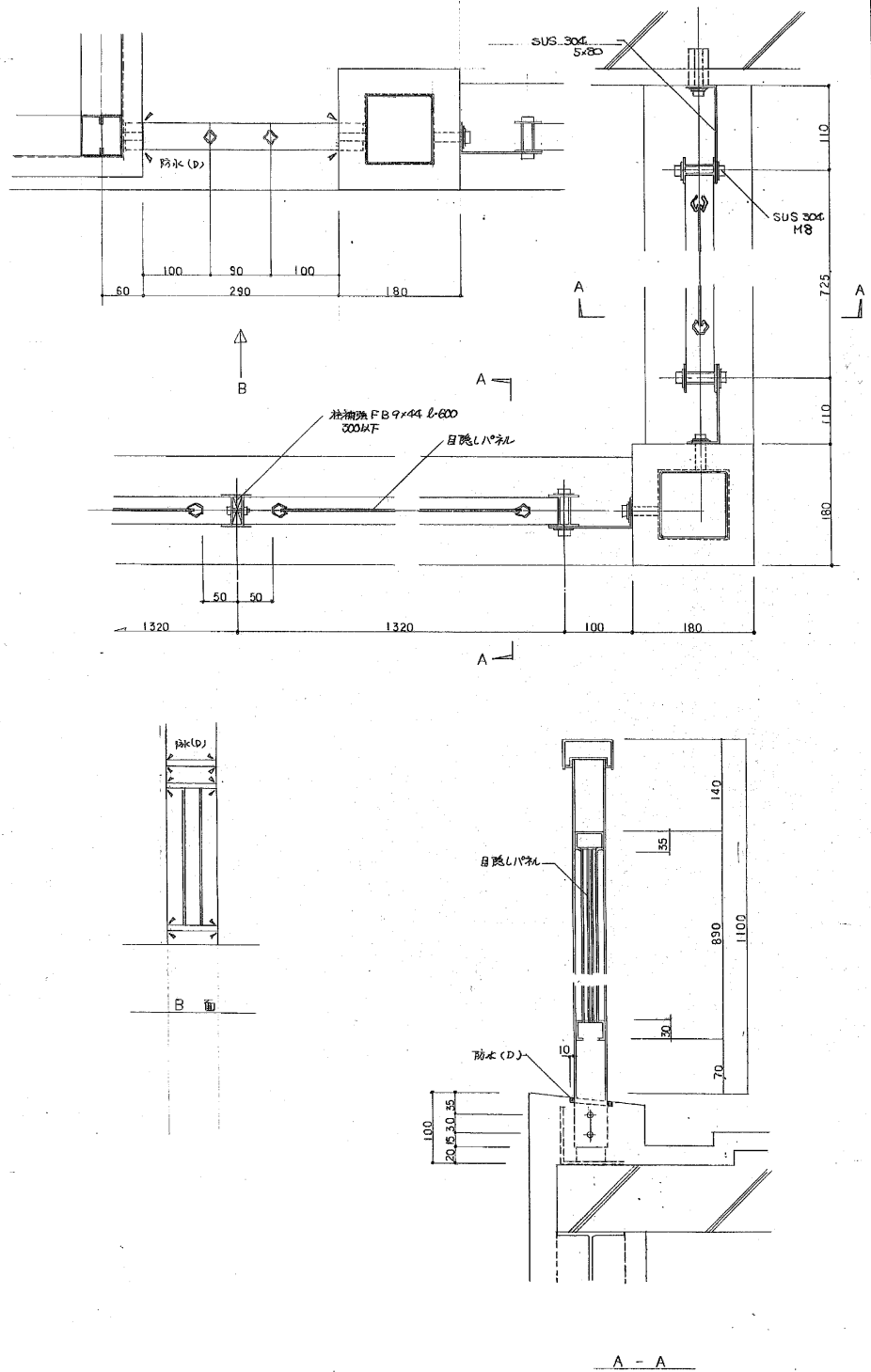
平成 年月日	営繕主任 係長 主査 担当	建物型式名	図面名称	図面番号
大阪府建築部 営繕室		版一改-91-4RC-60305	改修天井伏図・床伏図	9/21
株式会社 共同建築事務所			縮尺 1:50	

記号	AW1 新設 廊下 2ヶ所	AW2 新設 廊下 1ヶ所	SSM1 新設 洗面所 1ヶ所	SSM2 新設 浴室 1ヶ所	AD 新設 廊下 1ヶ所	WD 新設 便所 1ヶ所	
形式	アルミ製引違い窓	全左	ステンレス製上部可動ガラリ付 下部内倒し窓	ステンレス製上部可動ガラリ付 下部内倒し窓	アルミ製片開き扉戸	木製片開きフラッシュ戸 (ガラリ付)	
材質・見込	アルミ 70	全左	ステンレス SUS 304 25	ステンレス SUS 304 25	アルミ 70	桧合板 30	
硝子	透視 3 複層小窓 透明 F5	全左	型板 F4	型板 F4	型板 F4 下段アルミパネル	型板 F4	
仕上	アルマイト	全左	電解研磨	電解研磨	アルマイト	O.P.塗	
金物	クレセント付両面金物一式、アルミ木切 Lピース	全左	ハンドル付アラチ、内倒しストップピン、可動ガラリ構造	ハンドル付アラチ、内倒しストップピン、可動ガラリ構造	T番 Lバーストップバー、アルミ2重取板、アルミ木切	T番 Tムストップバー、フラスコク製ガラリ、両ガラス枠	
備考	BL製品 IFのクレセントロー式とする	全左	BL製品 Lピース	全左	珪玉樹脂リフト (内倒しカムタン) Lピース	珪玉樹脂	
記号	WD2 新設 物入 1ヶ所	F1 新設 和室6帖 1ヶ所					
形式	木製両開きフラッシュ戸	木製付引違い襖					
材質・見込	桧合板 30	木製 BL仕様による 18					
硝子							
仕上	O.P.塗	和室側新島ノ子貼 押入側費花紙貼					
金物	T番 SUS-2号把手、丸棒シ、ローアングル	合成樹脂製引手					
備考							
記号	AW4 改修 和室6帖 2ヶ所	AW5 改修 和室4.5帖 1ヶ所	SD1 改修 玄関 1ヶ所	F2 改修 和室6帖 2ヶ所	F3 改修 押入 1ヶ所	F4 改修 和室 1ヶ所	F5 改修 和室4.5帖 1ヶ所
形式	アルミ製袖ハシ付引違い窓	アルミ製引違い窓	スチール製片開き戸	4枚引違い襖	全左	引違い襖	片開き襖
既存仕上							
改修内容	アルミパネル取替 F3		鋼路レレシの上 O.P.塗 (特長)	和室側新島ノ子貼替、居間・台所側ビニル紙貼替 カサ・中骨が破損している場合は補修すること	和室側新島ノ子貼替、押入側費花紙貼替	両面六新島ノ子貼替	和室側新島ノ子貼替、電線側ビニル紙貼替
備考			新設ドアローガー・鍵取替工	下貼りガラ貼替えること			
	走具調整	全左	全左	全左	全左	全左	全左
記号							
形式							
既存仕上							
改修内容							
備考							



建具伏図

- 新設
- 既設改修



説明事項
本図は型式とし、部材はBL製品とする。

名称
バルコニー手摺

縮尺
1:5

番号
詳-101

説明事項

名称
物干金物

縮尺
1:10 1:2

番号
詳-102

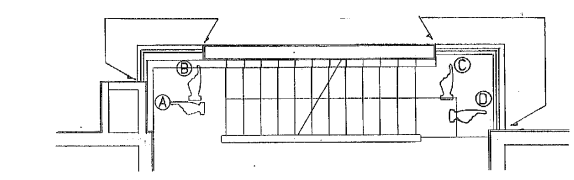
説明事項

名称
バランス釜トップカバー

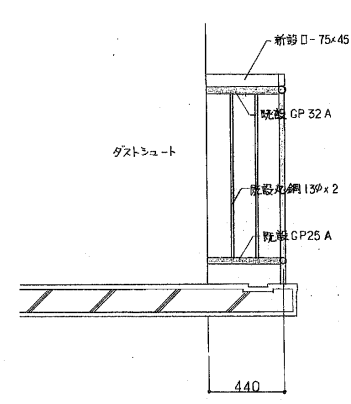
縮尺
1:3 1:10

番号
詳-103

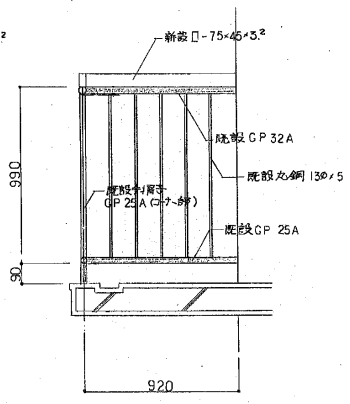
年月日	監理	主計	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	図面番号
	大阪府建築部 営繕室					阪改-91-4RC-60305	特殊詳細図(2)	12
	株式会社 共同建築事務所						縮尺 1:2, 1:3, 1:5, 1:10	21



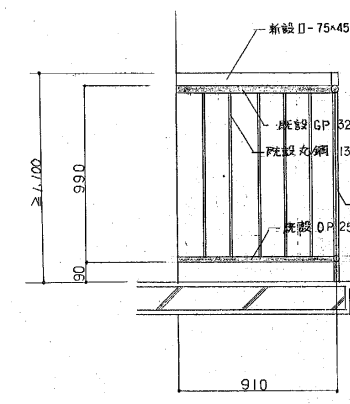
KEY PLAN



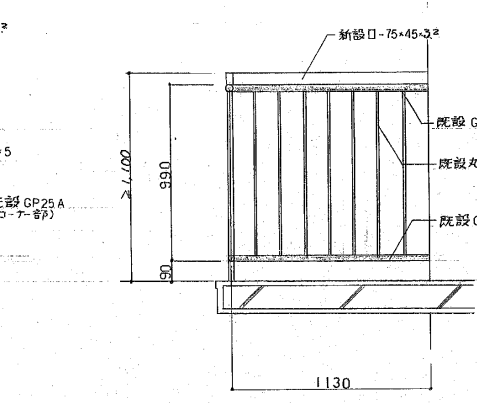
A 立面図 1:20



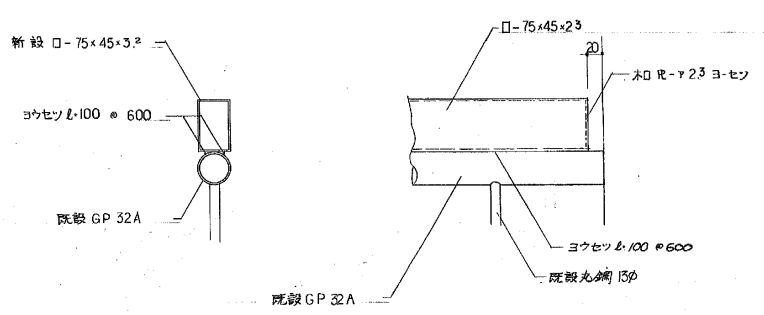
B 立面図 1:20



C 立面図 1:20



D 立面図 1:20

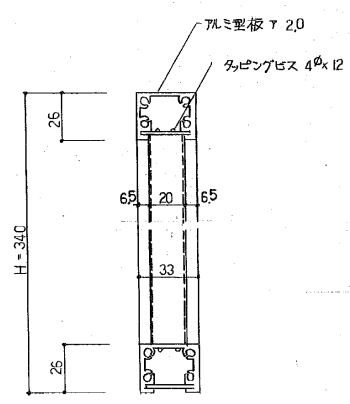


a 詳細図 1:5

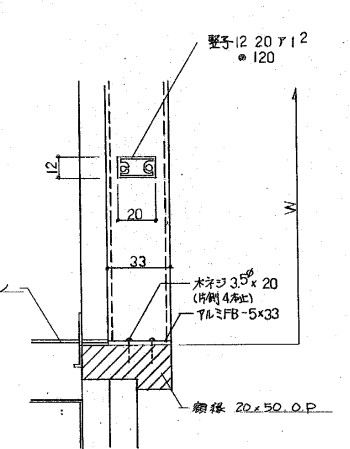
- (注記)
- 1) 手摺高上げ工事に於ける場合は特記なき限り左開スミ内湾接とする(入込にグラインダーかけをする事)
 - 2) 新設部の鉄部塗装は特記なき限りすべて防錆処理の上OP塗とする
 - 3) 既存部の鉄部見付部はすべて錆止めを行い、防錆処理の上OP塗とする(大気汚染等10年以上)
 - 4) 手摺高上げ工事における既存部との取付部は入込にグラインダーかけを行ない平滑に仕上げる事
 - 5) 手摺長さ及び高上げ高さは現場実測の上決定すること。
 - 6) 現況Hが1,100以上の場合は及びIFは改修不要、但し塗装は在りてなうこと。

説明事項

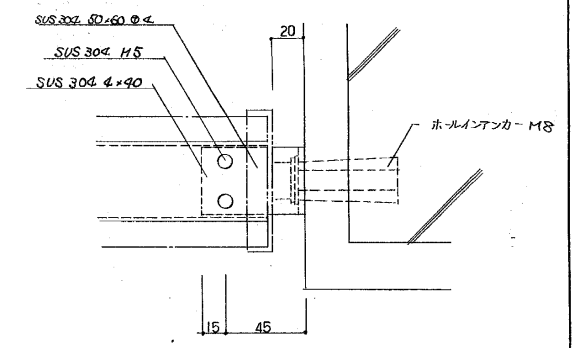
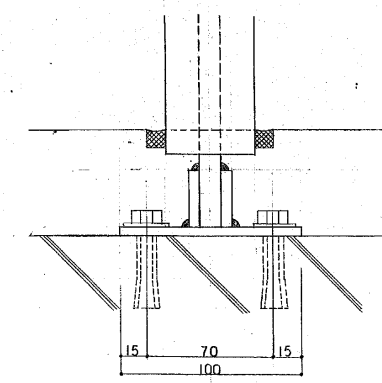
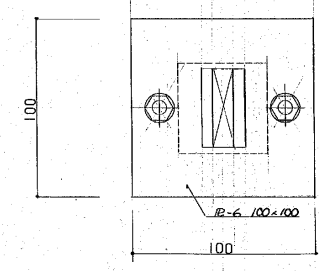
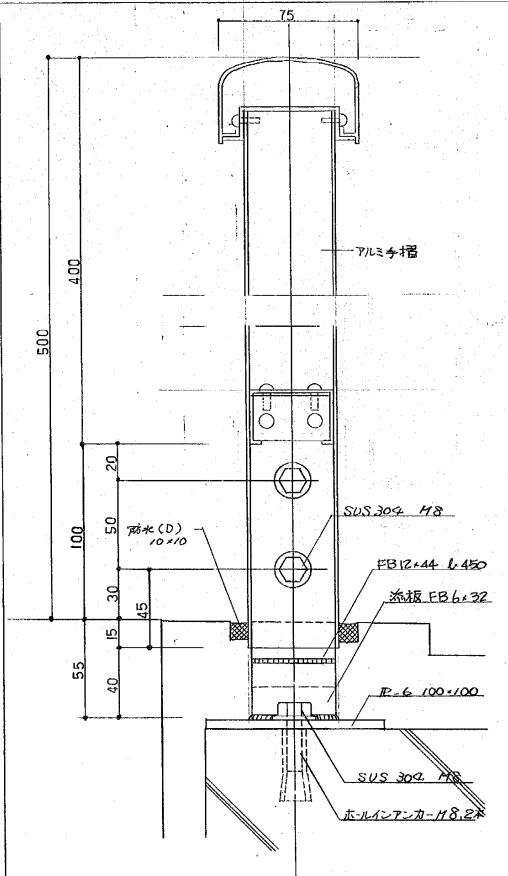
名称	階段至手摺高上げ	
縮尺	1:20 1:5	番号 詳-201



定手摺断面 1:2



定手摺平面 1:2

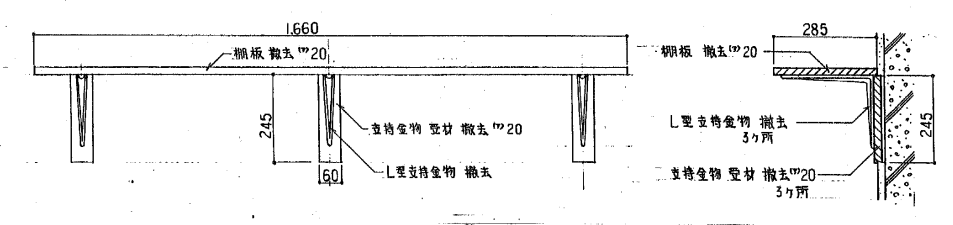
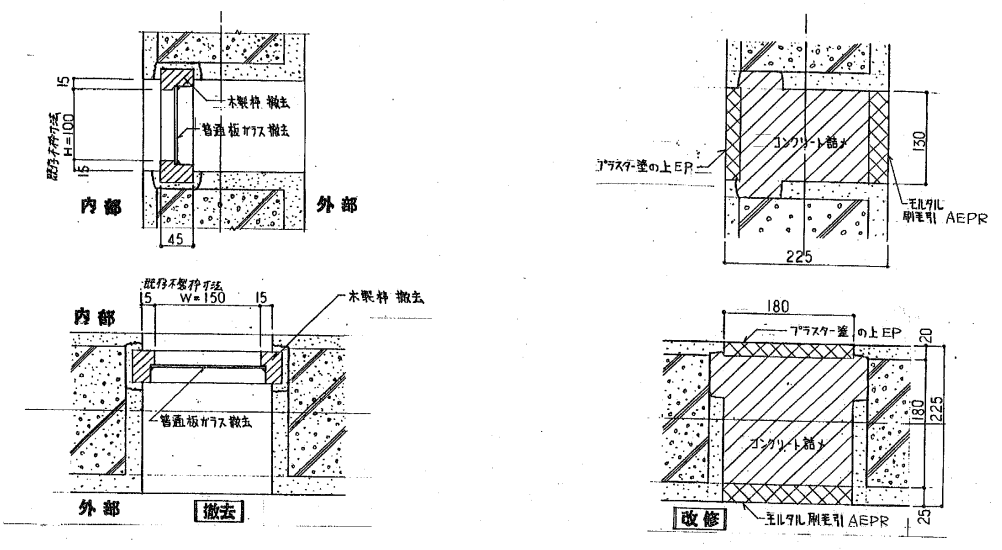


説明事項

名称	定手摺	
縮尺	1:2	番号 詳-202

名称	室外機置場防護柵	
縮尺	1:2	番号 詳-203

年月日	図面名称	図面番号
大阪府建築部 営繕室	特殊詳細図(3)	13/21
株式会社 共同建築事務所	縮尺 1:2, 1:5, 1:20	

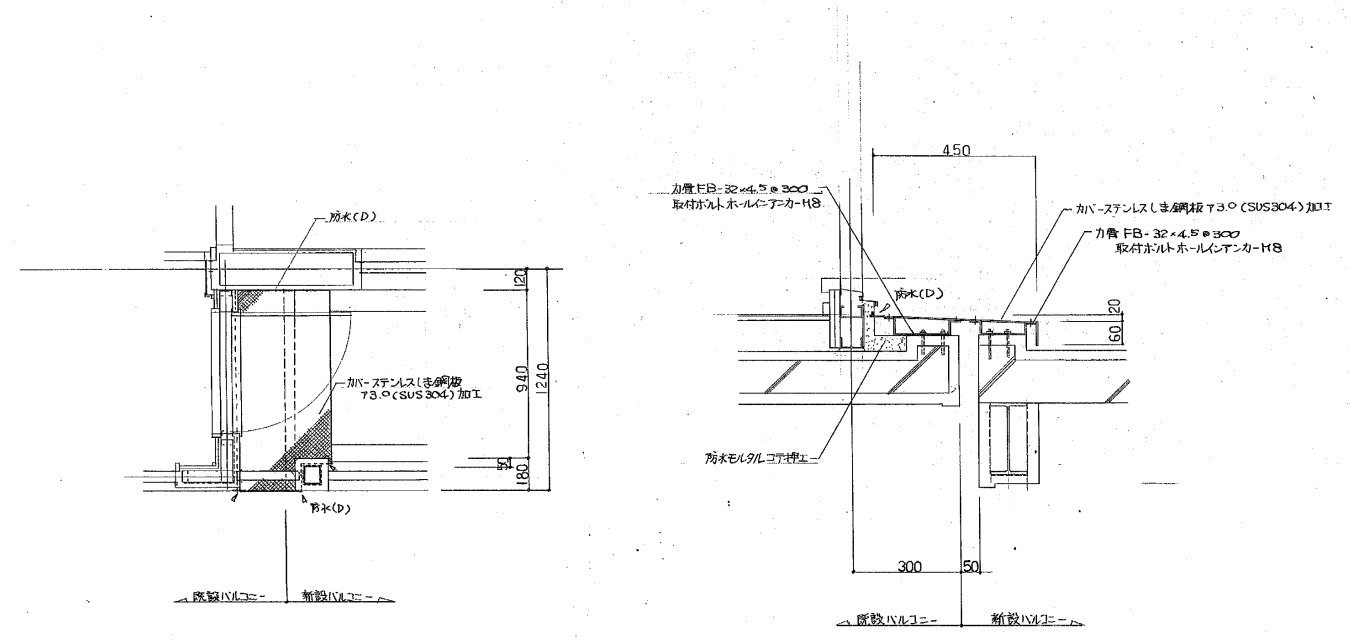


説明事項

名称 ガスメーター横釘窓
 縮尺 1/5
 番号 詳-501

説明事項

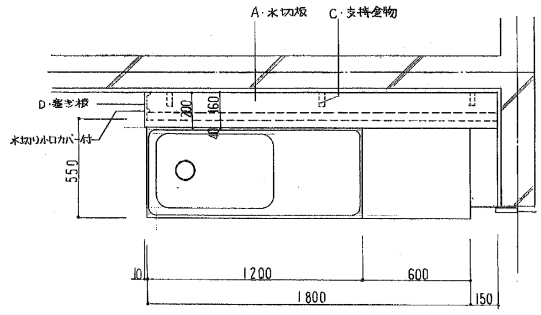
名称 台所既設棚
 縮尺 1:10
 番号 詳-502



説明事項

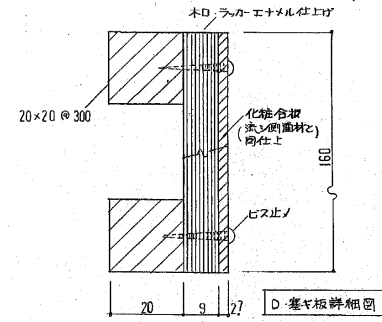
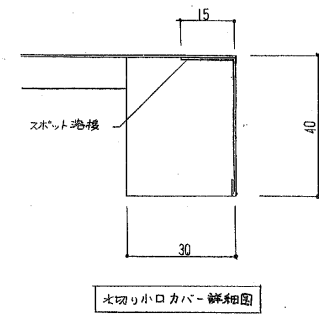
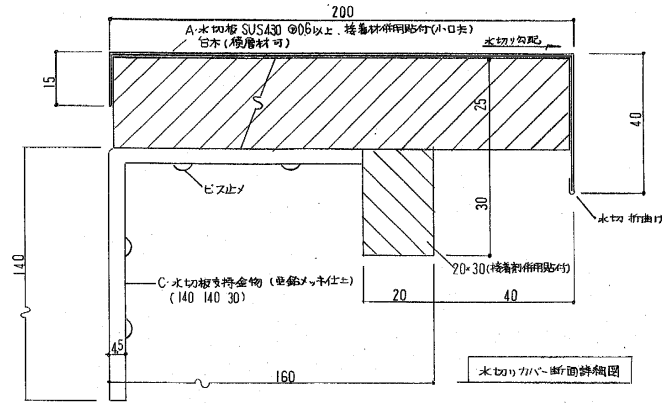
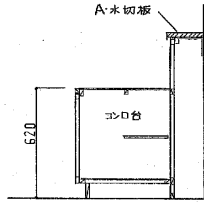
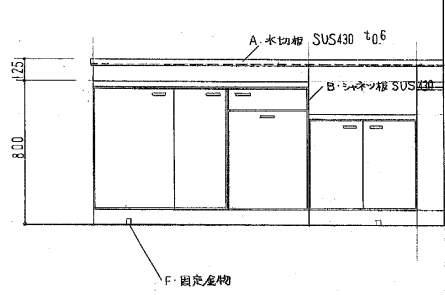
名称 バルコニー床カバ
 縮尺 1:20 1:10
 番号 詳-503

年月日	設計	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	図面番号
大阪府建築部 宮精室						版一政-91-4RC-60305	特殊詳細図(6)	16/21
株式会社 共同建築事務所							縮尺 1:5, 1:10, 1:20	



流シ台・コンロ台仕様概要

ステンレス鋼板	ステンレス SUS430 ϕ 0.6以上又はステンレス SUS304 ϕ 0.6以上 1777規格
ホリ合板	「特殊合板の日本製材規格」による特殊加工化粧合板とし 2類FWタイプとする
塗装合板	「特殊合板の日本製材規格」による特殊加工化粧合板とし 2類Wタイプとする
素地合板	「普通合板の日本製材規格」による2類1等品とする
木部	ニレ・セン・タモ・ナラ等及び防虫処理ラワン材ラワン合板
塗装	ラッカー・エナメル 2回塗装 (普通合板使用の場合)
把手	ABS樹脂製
丁番	普通丁番 (SUS430)
キャッチ	ローラーキャッチ又はマグネットキャッチ
備付	包丁差シ付



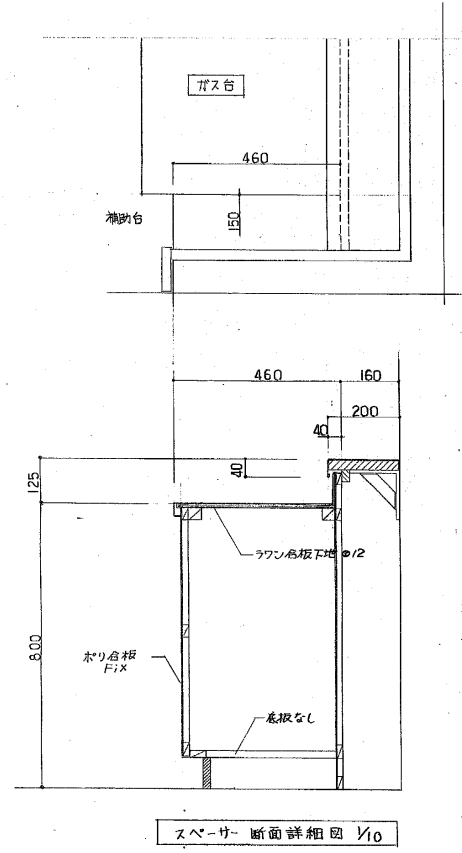
品名	仕様	数量
A 水切り(包付)	SUS430 ϕ 0.6以上貼 貼=1960(部備欠付所) 台木バネ仕上	1
B 遮熱板	SUS430 ϕ 0.6	1
C 水切り支持金物	L型 140 \times 140 \times 30 \times 45 亜鉛メッキビス付一式	3
D 塞ぎ板	ベニヤ ϕ 90(ラッカー・エナメル仕上) + 化粧合板 ϕ 27	1
E ヒモ材	10 \times 30 (接着剤にのみ)	
F 固定金物	本府見本品決定	?

(註) 流し台及び水切り板と壁面とのすきは、ホリアルファード系シーリング剤を充填する
水切り板取り付け位置は、設備担当者現場指示による

説明事項
BL製品メーカー製作による
但し仕様についてはBL承認仕様を現場監督員に提出し承諾を受ける

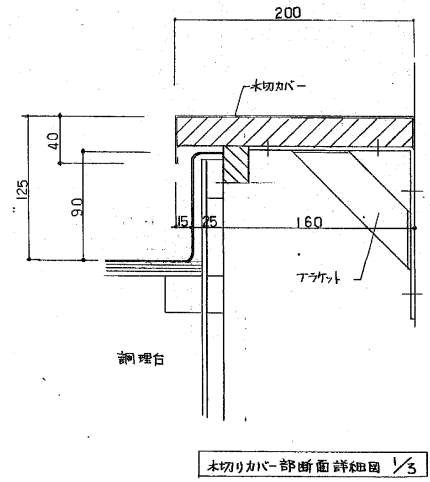
名称	流シ台・コンロ台
縮尺	1:20 番号 詳-601

名称	水切り板
縮尺	1:1 番号 詳-602



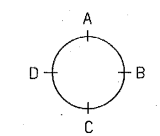
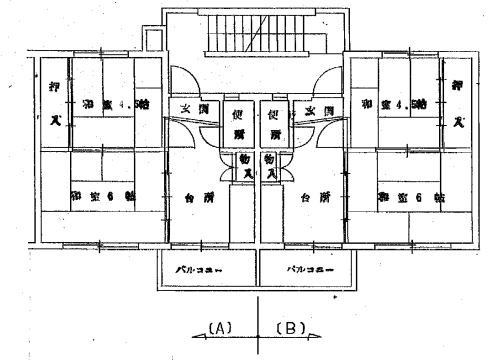
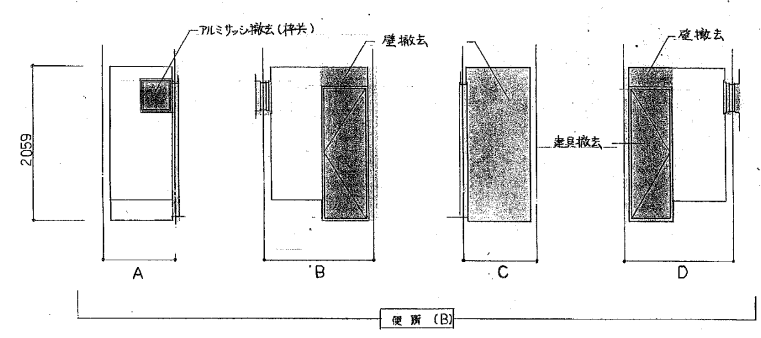
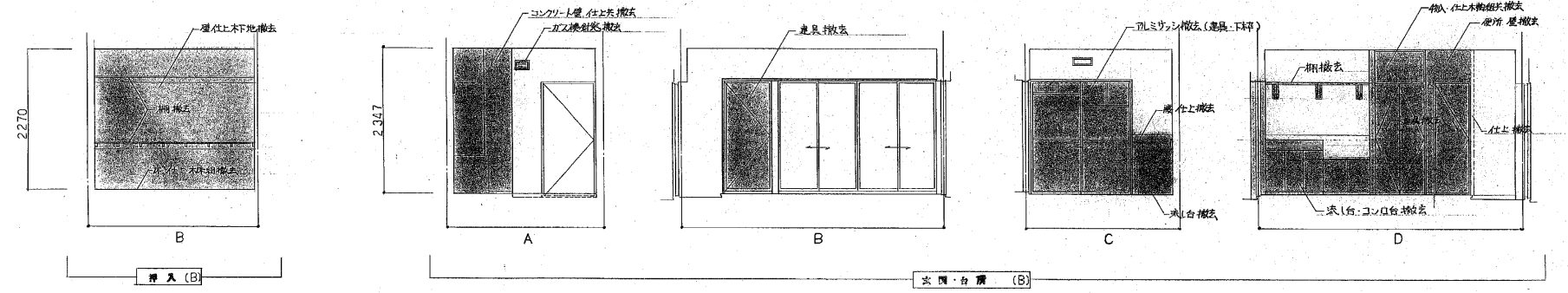
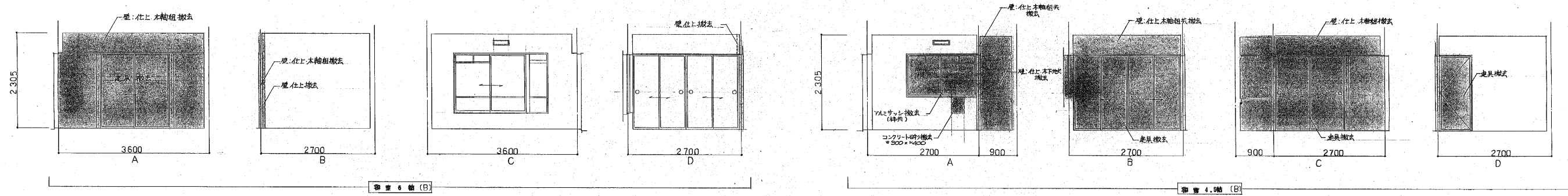
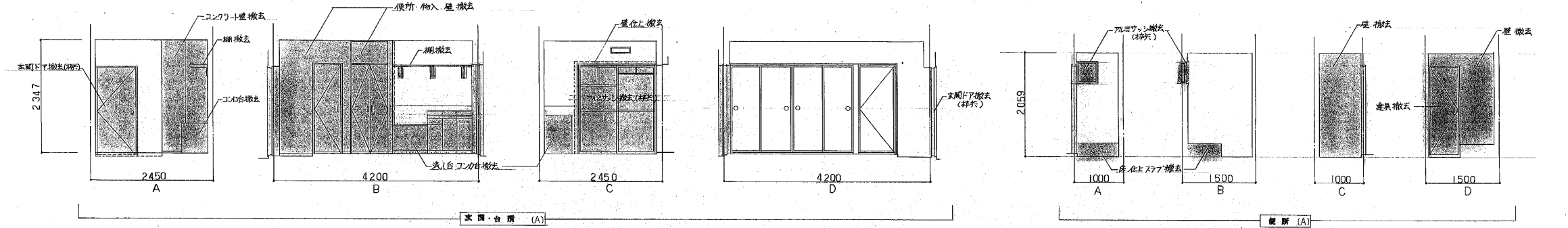
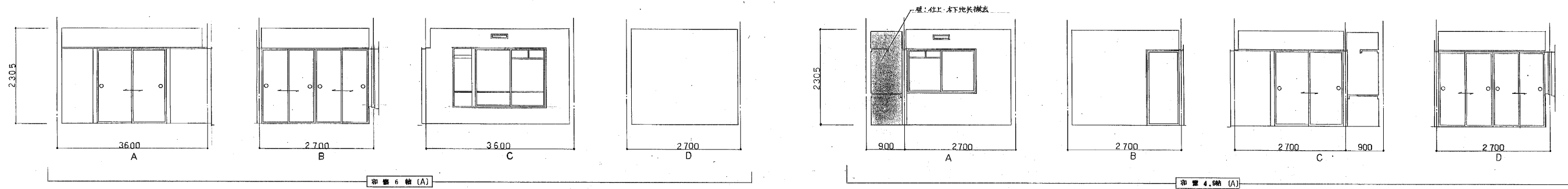
スペース heater 仕様概要

ステンレス鋼板	ステンレス SUS430 ϕ 0.6以上又はステンレス SUS304 ϕ 0.6以上 1777規格
ホリ合板	「特殊合板の日本製材規格」による特殊加工化粧合板とし 2類FWタイプとする
塗装合板	「特殊合板の日本製材規格」による特殊加工化粧合板とし 2類Wタイプとする
素地合板	「普通合板の日本製材規格」による2類1等品とする
木部	ニレ・セン・タモ・ナラ等及び防虫処理ラワン材ラワン合板
塗装	ラッカー・エナメル 2回塗装 (普通合板使用の場合)

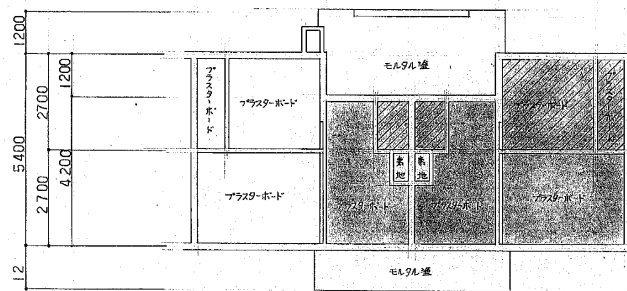
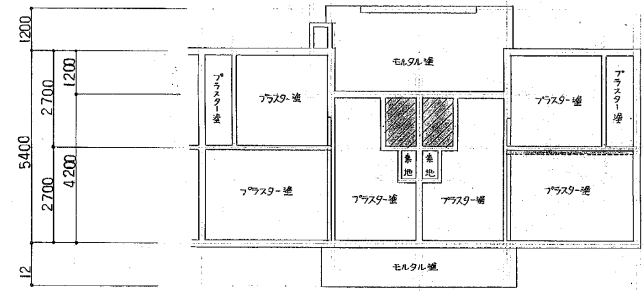
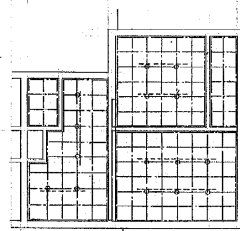
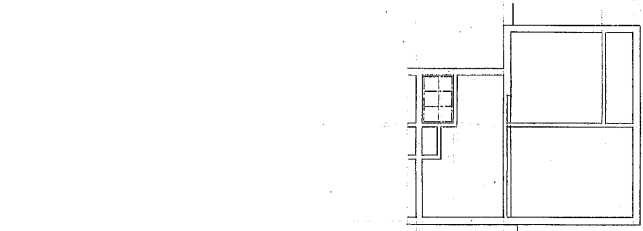


BL製品メーカー製作による
但し仕様についてはBL承認仕様を現場監督員に提出し承諾を受ける

名称	スペース heater
縮尺	1:10 1:3 番号 詳-603

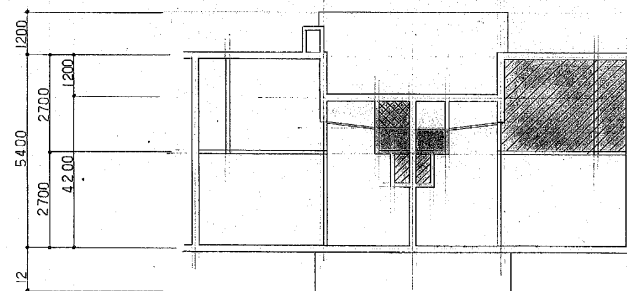
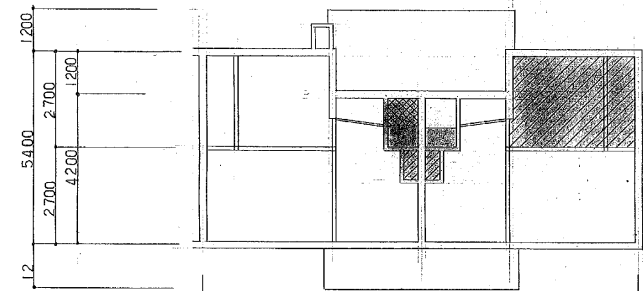
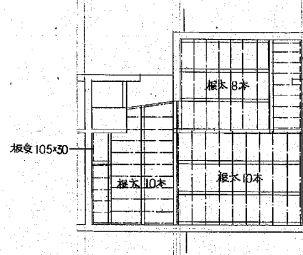
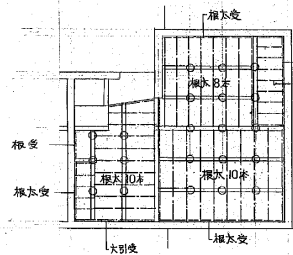


平成 年月日	営繕監	主幹	係長	主査	担当	建物型式名	図面名称	図面番号
大阪府建築部 営繕室						阪-改-91-ARC-60305	撤去展開図 縮尺 1:50	20 21
株式会社 共同建築事務所								



1~3 階天井伏図 1:100

4 階天井伏図 1:100



1 階床伏図 1:100

2~4 階床伏図 1:100

既為の柱
 仕上材のみ撤去
 仕上材・木床組共撤去

既為の柱
 仕上材のみ撤去
 仕上材・木床組共撤去
 スラック撤去

記号・名称	AW1 撤去 台所	2ヶ所	AW2 撤去 和室4.5帖	1ヶ所	AW3 撤去 便所	2ヶ所
形状	アルミ引き違い窓 A住戸(建具・枠共) B住戸(建具・下枠のみ)		アルミ引き違い窓 建具・枠共		アルミ内窓1窓	
姿	図		図		図	
記号・名称	SD1 撤去 玄関	1ヶ所	WD1 撤去 便所	2ヶ所	WD2 撤去 物入	2ヶ所
形状	スチール製片開き戸 枠共		木製片開き戸		木製片開き戸	
姿	図		図		図	
記号・名称	F1 撤去 和室	1ヶ所	F2 撤去 押入	1ヶ所	F3 撤去 和室4.5帖	1ヶ所
形状	引き違い換		4枚引き違い換		片開き換	
姿	図		図		図	
記号・名称	○					
形状						
姿	図					

